

○ 室生湖のフナ放流

昨年に引き続き、平成25年12月3日、4日、8日、11日の4回にわたり室生湖において、宇陀川漁業協同組合と室生漁業協同組合による合同のフナ放流事業が実施されました。

天候にも恵まれ、両組合委員が見守る中、養殖場から仕入れた約2,000 kgのヘラブナが室生湖に放流されました。

室生湖には関西地区はもとより、関東や山陰からの釣り人も訪れるほど、フナ釣りのメッカではありますが、近年カワウによる捕食被害が発生しており、室生湖での自然繁殖が難しいため、放流に頼らざるを得ない状況です。

今回、放流されたヘラブナは、一匹約20～30cmの型のもの約と約30～40cmの型のもの半分で、約20～30cmの型のはカワウに捕食される心配があるようでしたが、姿形も良く、今後の釣果が期待されているようでした。

室生ダム管理所としても、ダム湖が自然の釣り場として親しまれるよう、不法投棄などに一層の監視の目を光らせ、漁協と共にダム湖を守って行きたいと思っております。



【室生湖へのヘラブナ放流状況】



【放流されたヘラブナ】



【漁協組合の皆様】



【体長約20～30cmのヘラブナ】



【体長約30～40cmのヘラブナ】